

# 新年特集号

発行者：後援会会長 加藤進一 / 後援会事務所：稲沢市平野町 2-8 Tel. 32-7199

## ののべ尚昭経過報告

- 10月 2日 尾張西部議員野球大会 (優勝)
- 5日 足立学園葬
- 6日 稲西校区運動会
- 9日 松坂屋美術館開館5周年記念開会式
- 16日 水道全員協議会
- 22日 尾張部議員野球大会
- 23日 戦没者追悼式
- 25日 尾張部議員野球大会 (優勝)
- 27日 稲西校区グランドゴルフ大会  
老人クラブ運動会
- 30日 水道議会
  
- 11月 1日 市制記念式典
- 2日 産業祭開催式
- 5日 決算特別委員会 (傍聴)
- 6日 〃
- 9日 交通安全都市宣言10周年記念大会
- 12日 大里東小学校屋内運動場竣工式
- 14日 管内視察 (文教・経済委員会)
- 15日 臨時議会
- 16日 福祉まつり開会式
- 18日 行政視察  
 (徳山市・井原市・高松市)
- 20日 〃
- 26日 委員協議会 (文教・経済委員会)
- 27日 下水道対策特別委員会
- 29日 議員総会
  
- 12月 5日 叙勲祝賀会
- 6日 12月定例議会
- 〃
- 19日 閉会  
平成9年度市民クラブ予算要望
- 25日 水道臨時議会
- 26日 年末夜警

## 会員の皆様

### 新年明けまして

おめでとうございます



昨年は新人議員として皆様方に温かく見守って頂き、議員活動を努めることができました。心から厚く御礼申し上げます。

昨年は厚生省の汚職事件、全国的な官官接待など政・官・業の癒着が国民に怒りを与えた年となりました。このような事件は行政や政治の不透明さから生じたものと思われます。国際化・情報化・高齢化社会を迎えて時代は変わりつつあります。今年も情報公開をし、時代の変化に対応できる政治を目指してまいります。

さて、稲沢市におきましては、昨年よりJR 稲沢駅東西自由通路の工事がスタートしました。この自由通路が完成すると稲沢駅が東西両側から利用できるようになり、一体的まちづくりのカケハシとして、多くの市民から熱い期待が寄せられています。今後は、この自由通路の建設が起爆剤となり、駅周辺開発事業が促進すると考えられます。そして、この地域が尾張西部地域の中核的な都市拠点として発展することを私も熱望しています。

今年も地方分権下の行政システムを目指し、「行政改革の推進と責任ある政治」を視点に、新年の抱負とし、稲沢の発展と皆様のご健勝を心よりお祈り致しまして新年の挨拶と致します。

市議会議員 野々部 尚昭

# 謹賀新年

謹んで新春のお慶びを申し上げます



ご家族おそろいでお健やかに初春をお迎えのことと存じます。

後援会が発足して後援会活動も円満に定着して早一年が過ぎましたことは、ひとえに皆様方の温かいご支援のおかげと心より感謝しております。本当にありがとうございました。

ののべ議員も一年生議員ながら議会での活躍は毎回一般質問をし、後援会の皆様方にも(私もですが)議場に足を運び傍聴して頂きました。これも今までにない光景です。多方面からの良い刺激になり徐々に議会の活性化になってきている一年と思えました。

これからも後援会活動におきましては皆様方の今まで同様変わらない温かいご支援ご協力をお願い申し上げ新年のご挨拶とさせていただきます。

後援会会長・加藤 進一

新年明けましておめでとうございます



ののべ議員が誕生してから早くも2回目のお正月を迎えることができました。また、後援会も日ごとに大きくなり、ののべ尚昭議員の成長と同時に後援会も成長していった昨年でした。

青年部では月1度、ののべ尚昭議員と勉強会を開き、市政、国政を問わず政治のあり方について色々議論をしてみました。そして、この後援会の会報の作成から発送までを20代の男女を中心に担当して、ののべ尚昭議員の活動を皆様方にご報告してまいりました。会報を読んでお分かりの通り、ののべ議員は毎回一般質問をして登壇し、市政に対して厳しくチェックをしています。また、若い斬新なアイデアを市政に吹き込んでいます。今年もこの若さとバイタリティーでののべ尚昭議員が活躍できるよう応援していきます。

青年部・広田 暁之

新年明けましておめでとうございます



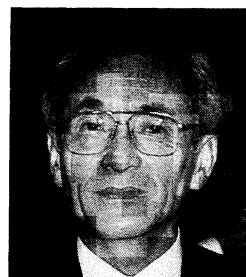
皆様おそろいで輝かしい新年をお迎えのことと存じます。

旧年中は後援会活動にご協力を頂き誠にありがとうございました。ののべ尚昭議員誕生から二度目のお正月を迎えたわけですが、私たちの本年度の抱負としましては、より充実した後援会活動を行い、大きな輪に発展するようガンバル所存でございます。

皆様方の益々のご理解とご協力をお願い申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

婦人部・内藤 季子

謹んで輝かしい新春のお慶びを申し上げます



ご家族お揃いで輝かしい新年をお迎えのことと存じます。

昨年もサラリーマンにとっても農家にとっても非常に厳しい年でした。同時に稲沢市においても財政的に厳しく、今は耐える時だと思えます。そんな中、ののべ尚昭議員は元気良く活動をして会報を通じ情報公開を積極的にしております。今年もののべ尚昭議員をもり立てて、稲沢市のリーダーとなることを期待して、応援していきたいと思えます。

平野ソフトクラブ監督・水野 祐吉

## 12月定例議会

12月6日に開会し、14日間の会期で本年度一般会計補正予算案など19議案を原案通り可決しました。なお、本年度一般会計補正額は2億5,917万7千円を歳入歳出予算総額の250億1,932万2千円に追加したもので、歳入歳出予算総額を252億7,849万9千円としたものです。そして、平成7年度一般会計決算など9件を認定しました。

また、一般質問を行った議員は11名でした。(後ののべ尚昭議員の一般質問の詳細を報告)

### 【条例制定】

- ◎ 稲沢市特別職の給与及び旅費に関する条例の特例を定める条例を制定しました。

### 【条例改正】

- ◎ 稲沢市報酬額及び費用弁償に関する条例の一部を改正しました。
- ◎ 稲沢市消防団条例の一部を改正しました。
- ◎ 稲沢市立保育園の設置及び管理に関する条例の一部を改正しました。
- ◎ 稲沢市職員の給与に関する条例の一部を改正しました。
- ◎ 稲沢市職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正しました。

### 【意見書】

- ◎ 義務教育費国庫負担制度の維持に関する意見書を可決しました。(国は昭和60年度より義務教育費国庫負担対象の見直しを行い、義務教育諸学校の教材費、旅費などを国庫負担の対象から除外する措置を行ってきた。さらに、今後は学校事務職員及び学校栄養職員の給与費等を国庫負担の対象から削減する意向であると伝えられている。よって、政府はこれらの意向をとどめ、現行の義務教育費国庫負担制度を維持するように強く要望しました。)

### 【認定】

- ◎ 平成7年度稲沢市一般会計歳入歳出決算を認定しました。
- ◎ 平成7年度稲沢市国民健康保険特別会計歳入歳出決算を認定しました。
- ◎ 平成7年度稲沢中島都市計画稲沢土地区画整理事業特別会計歳入歳出決算を認定しました。
- ◎ 平成7年度稲沢市民交通災害共済事業特別会計歳入歳出決算を認定しました。
- ◎ 平成7年度稲沢市老人保険特別会計歳入歳出決算を認定しました。
- ◎ 平成7年度稲沢市公共下水道事業特別会計歳入歳出決算を認定しました。
- ◎ 平成7年度稲沢中島都市計画稲沢西土地区画整理事業会計歳入歳出決算を認定しました。
- ◎ 平成7年度稲沢市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算を認定しました。
- ◎ 平成7年度稲沢市稲沢市民病院事業会計歳入歳出決算を認定しました。

## 11月臨時議会

11月15日に1日間の会期で、稲沢駅東西自由通路整備委託工事協会の締結についてなどの議案を可決しました。また、これに伴い、一般会計補正予算を歳入歳出予算の総額254億9,070万7千円から歳入歳出それぞれ4億7,138万5千円を減額し、歳入歳出予算の総額を250億1,932万2千円としました。

### 【意見書】

- ◎ 民主主義を守りテロ行為の根絶を求める意見書を可決しました。

# 議会活動報告

## 行政改革推進について

～ 行政改革推進計画について ～

**Q** 平成8年度の進捗状況はどうか？ 次の3つに分類して答弁を求めます。

- (1) 実施できたもの
- (2) 平成8年度中に実現の可能性のあるもの
- (3) 平成8年度中に実現できないと判断したもの(平成8年度以降なら実現可能なもの、またはそれ以降でも不可能なもの)

**A** 平成8年度からの推進計画項目としましては19項目あります。このうち、(1) 実施できたものは16項目、(2) 8年度中に実施予定のものは1項目、(3) 今後さらに研究していくべき項目については2項目です。

～ 職場の活性化について ～

**Q** “行政は人なり”という言葉があるように、稲沢市も人材育成により職場を活性化しなければならない。そこで市長と若手職員の懇親会を開いて、21世紀を担う若い職員から斬新な意見交換をしたらどうか？ 市長の答弁を求めます。

# 12月定例議会

## 【ののべ尚昭質問】

**A** 私も、このような市行政が大変厳しい時期、若手の職員の意識を聞くということは、重要なことだと理解しておりますので、行う方向で検討していきます。

## ふるさと創生1億円事業について

**Q** 「ふるさと創生1億円事業」は市民にとって大変関心のある事業であり、何を行ったのか知りたいという声が多い。そこで、実際、この事業で稲沢市は何をしたのか？

**A** 昭和63年度に国が提唱したこの事業は、「自ら考え自ら行う地域づくり」事業を各地方自治体に展開させることとし、その経費として昭和63年度に2000万円、平成元年度に8000万円の計1億円が、全国の市町村に一律に措置されたものです。

稲沢市は平成2年度の大塚性海寺歴史公園整備事業に約4300万円使いました。残りは地域づくり事業基金としています。

**Q** 平成2年度以降にも「地域づくり事業」や「ふるさとづくり事業」という形で毎年約1億2000万円が国から交付されているが、活用はどうしたのか？

